



平成25年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社イオンファンタジー
コード番号 4343 URL <http://www.fantasy.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理・管理本部本部長
定時株主総会開催予定日 平成25年5月29日
有価証券報告書提出予定日 平成25年5月30日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(氏名) 片岡 尚
(氏名) 新田 悟
配当支払開始予定日

TEL 043-212-6203
平成25年5月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期の連結業績(平成24年2月21日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期	44,868	—	3,402	—	3,490	—	1,535	—
24年2月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年2月期 1,851百万円 (—%) 24年2月期 ー百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年2月期	84.71	84.46	8.1	13.7	7.6
24年2月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 25年2月期 ー百万円 24年2月期 ー百万円

(注) 平成25年2月期より連結財務諸表を作成しているため、平成24年2月期の数値及び対前年同増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
25年2月期	26,684	—	19,988	—	73.7	1,084.95
24年2月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 25年2月期 19,674百万円 24年2月期 ー百万円

(注) 平成25年2月期より連結財務諸表を作成しているため、平成24年2月期の数値は記載していません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年2月期	6,152	△5,672	△580	5,250
24年2月期	—	—	—	—

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年2月期	—	0.00	—	32.00	32.00	580	—	—
25年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00	544	35.4	2.9
26年2月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00	—	34.9	—

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,500	7.2	1,900	20.1	1,900	19.7	846	14.6	46.66
通期	46,600	3.9	3,600	5.8	3,600	3.1	1,560	1.6	86.04

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

永旺幻想(北京)児童遊楽有限公司 AE
 新規 4社 (社名) ON FANTASY(MALASIA)SDN.BHD. AE
 ON Fantasy(Thai land)Co.,Ltd. AEON F 、除外 1社 (社名)
 antasy Holdings(Thai land)Co.,Ltd.

(注)詳細は、添付資料14ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

25年2月期	18,175,688 株	24年2月期	18,175,688 株
25年2月期	41,770 株	24年2月期	46,196 株
25年2月期	18,131,101 株	24年2月期	18,129,382 株

(参考)個別業績の概要

1. 平成25年2月期の個別業績(平成24年2月21日～平成25年2月28日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期	43,729	3.0	3,703	2.4	3,772	3.9	1,357	△19.4
24年2月期	42,447	△3.3	3,616	34.8	3,631	39.6	1,684	34.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期	74.86	74.65
24年2月期	92.92	92.72

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
25年2月期	25,822		19,569		75.6		1,076.80	
24年2月期	23,995		18,768		78.1		1,033.41	

(参考) 自己資本 25年2月期 19,526百万円 24年2月期 18,735百万円

2. 平成26年2月期の個別業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	22,700	5.9	2,220	28.5	890	0.3	49.09	
通期	44,100	0.8	3,940	4.4	1,560	14.9	86.04	

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績・財政状態に関する分析(1)経営成績に関する分析」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成25年4月10日(水)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	5
3. 経営方針	5
4. 連結財務諸表	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
継続企業の前提に関する注記	14
連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項	14
追加情報	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
5. 個別財務諸表	18
(1) 貸借対照表	18
(2) 損益計算書	20
(3) 株主資本等変動計算書	22

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

2013年2月期は、今期の大きな政策課題である‘イオンファンタジーブランド’の確立に向け、店づくりや遊戯機械開発に加え、当社キャラクターララちゃんを中心とした‘モーリーファンタジーのなかまたち’を駆使したプロモーション等、ソフト面での取り組みをあわせて進めてまいりました。

国内事業については、幼児分野の強化を目的とした既存店舗の改装・活性化を行い、海外事業においては、新規出店の加速とキャラクターイベント等によるブランドの浸透を進めました。

その結果、当期の連結業績は、売上高448億68百万円、営業利益34億2百万円、経常利益34億90百万円、当期純利益15億35百万円となりました。

(国内事業)

国内事業は、新規出店は3店舗にとどまりましたが、72店舗の既存店舗活性化を行い収益力の強化を進めました。また、オリジナル遊戯機械は5機種合計625台の開発や時間制遊具グループの‘わいわいぱーく’の導入拡大等が幼児分野の強化による店舗の差別化に大きく貢献しました。

また、最近の孫同伴のシニアの来客増に対応し、「イクジー会員制度」を4月から導入し会員数は期末現在で7万2千名まで拡大いたしました。孫消費へのシニアのニーズに対し、幼児分野の強化があいまって既存店の客数増加につながりました。一方、カードグループ、プライズグループの売上構成比の拡大により粗利益は計画を下まわりました。

それにより国内事業の業績は、売上高437億29百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益37億3百万円（同2.4%増）、経常利益37億72百万円（同3.9%増）、当期純利益は連結子会社の投資等損失引当金5億50百万円を特別損失に計上したため13億57百万円（同19.4%減）となりました。なおこの引当金は連結業績には影響いたしません。

(海外事業)

今期から連結対象となる海外事業は、アセアンでの成長基盤強化に向けマレーシアで7店舗の新規出店を行い累計27店舗になるとともに、5月に新たにタイに子会社を設立し、既に2店舗出店いたしました。いずれも計画を上回る業績となり、イオンファンタジーマレーシアは黒字化いたしました。

また、中国については今期（2012年1月1日～2012年12月31日）9店舗の出店を行うとともに、2店舗を閉鎖し累計11店舗となりました。今後の新規出店については、イオン系の物件に加え、テナント誘致に優れ集客力のある地元有力ディベロッパーをより厳選し出店拡大を進める計画であります。なお、中国の既存店舗の業績については2012年9月の一時的な売上の落ち込みがありました。11月には前年売上を上回る従来までの趨勢に回復いたしました。今後も海外事業の柱のひとつとして位置づけております。

当連結会計年度におけるセグメントごとの部門別売上高は、次のとおりであります。

セグメントの名称	第17期 (自 平成24年2月21日 至 平成25年2月28日)	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)
(国内事業)		
遊戯機械売上高	33,478	74.6
商品売上高	10,078	22.5
委託売上高	137	0.3
遊戯施設関係	43,694	97.4
その他	8	0.0
小計	43,703	97.4
(海外事業)		
遊戯機械売上高	1,147	2.6
委託売上高	17	0.0
遊戯施設関係	1,165	2.6
小計	1,165	2.6
合計	44,868	100.0

- (注) 1. 遊戯機械売上高は、メダルゲーム機、乗り物等の遊戯機械による収入であります。
 2. 商品売上高は、カード、玩具、飲食物等の販売による収入であります。
 3. 委託売上高は、店内の業者委託の飲食店及び大型遊具施設の運営委託に係る手数料収入等であります。
 4. その他は、遊戯機械、備品、景品等の販売収入、ロイヤリティー収入等であります。

(設備投資の状況)

当期は新規出店21店舗と既存店舗の改装及び遊戯機械の入替投資等を実施し、設備投資額は62億18百万円となりました。この資金は自己資金で賄っております。

(社会貢献・環境保全活動の状況)

社会貢献活動としては、東日本大震災やそれに続く電力エネルギー問題等により、社会・環境情勢も社会貢献活動に対する参加意欲が非常に高まり、企業においてもその参加姿勢を問われる状況になりました。一方、当期はアジアを中心として海外での成長スピードを加速させており、グローバルな活動も求められております。

そのような中、創業以来継続してきた従来の活動を見直し、新たな環境変化に対応した活動指針を策定しております。

1. 社会貢献活動を中心とした活動にシフト
2. 全員参加を目指した活動機会の拡大
3. グローバル（アジアへ）でローカル（地域社会へ密着）な活動へ

2012年度の活動実績としては東日本大震災における継続的な支援活動として「みんなであそぼ！募金」と題し、3月11日に全国192店舗の時間制遊戯施設を無料開放いたしました。また、店内に募金箱を設置し、お客さまからの寄付金を、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンを通じ、NPO法人「地球の楽好」に寄付しております。

継続的に取り組んでいる「カプセル1（ワン）運動」は全店で819千個の空カプセルを回収いたしました。空カプセル1個を1円に換算した金額は、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会における「子どもたちの元気プロジェクト」（被災地の子どもたちへのワークショップ系プログラムを通じた活動）における活動支援金として寄付を行いました。

近年、カプセルゲーム機の利用需用の減少が課題であった「カプセル1（ワン）運動」については、2012年10月をもって終了し、新たな活動として、毎月11日に対象の遊戯機械で遊んで頂いた売上の10%相当を、次年度の寄付金とする「ファンタジースマイルデーあそんで募金」を2012年11月度より開始いたしました。

このほか、地域の社会福祉施設の子どもたちへの無料招待会は160店舗で延べ249回実施いたしました。中国、マレーシアにおいても同様の活動を実施いたしました。

また当社グループは、イオングループの社会貢献活動「イオン1（ワン）%クラブ」にも積極的に参加しており、子育て支援セミナー「すくすくラボ」への「ララちゃん」の参加、その他「イオンスカラシップ奨学金」などに寄付しております。

環境保全活動としては、生物多様性を支援する取組みとして、公益信託日本経団連自然保護基金を通じニホンヤマネ保護のため、ニホンヤマネ保護研究グループへの寄付を継続実施しております。

省エネルギーへの取組みは、国内の新規出店全店舗、一部改装店舗においてLED照明を導入し、省エネルギー化に取り組んでおります。

(次期の取り組みと見通し)

2014年2月期は、前期に引き続き「イオンファンタジーブランド」の確立に向けた取り組みを進めてまいります。とりわけ国内事業において、今期はダイナレックスやポップンパーク等、いくつか存在する店舗ブランドを主力店舗名である「モーリーファンタジー」に統一する計画です。

それに向けた既存店の改装・活性化の推進やオリジナル遊戯機械の開発を継続するとともに、オリジナルキャラクターの認知度向上に向けたステークホルダーへの情報発信を強化いたします。

また海外事業においては、新規出店と既存店舗の収益力の向上に注力し新たに中国で25店舗、マレーシアで15店舗、タイで10店舗の出店を計画しております。

2014年2月期の海外事業の売上高は25億円、営業損失は3億円を見込んでおります。

2014年2月期の連結業績予想は、売上高466億円（前年同期比3.9%増）、営業利益36億円（同5.8%増）、経常利益36億円（同3.1%増）、当期純利益15億60百万円（同1.6%増）を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の流動資産につきましては、133億99百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金52億50百万円、関係会社寄託金60億円であります。

固定資産の残高は、132億84百万円となりました。主な内訳は、遊戯機械70億61百万円、のれん10億87百万円であります。

流動負債の残高は、64億33百万円となりました。主な内訳は、未払法人税等14億4百万円、設備関係支払手形15億59百万円であります。

固定負債の残高は、2億63百万円となりました。主な内訳は、資産除去債務1億95百万円であります。

純資産の残高は、199億88百万円となりました。主な内訳は、資本金17億47百万円、資本剰余金17億14百万円、利益剰余金160億57百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、52億50百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、61億52百万円となりました。主な内訳は、税引前当期純利益34億46百万円及び減価償却費40億83百万円の計上、仕入債務4億16百万円の増加による資金の増加と、法人税等の支払18億3百万円による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、56億72百万円となりました。その主な内訳は、有形固定資産取得による支出54億99百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5億80百万円となりました。その主な内訳は、配当金の支払5億80百万円であります。

なお、キャッシュ・フロー関連指標の推移は下記のとおりであります。

	2013年2月期
自己資本比率	73.7%
時価ベースの自己資本比率	86.4%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—倍

(注)①自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

②キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用して計算しております。有利子負債は、連結貸借対照表上に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いは、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆さまへの安定的利益還元を経営の最重要目標のひとつとして位置づけており、内部留保の充実と財務体質の強化及び、業績、配当性向等を総合的に勘案して、長期的、安定的な利益還元を基本方針としております。内部留保資金につきましては、経営体質の一層の充実を図りつつ、海外出資や既存店への設備投資、新規出店及び増床の設備投資等、事業展開の原資として役立ててまいります。

上記方針に基づき、当期の配当金につきましては、1株につき普通配当30円を予定しております。(株主配当金の支払開始予定日：2013年5月8日(水曜日))

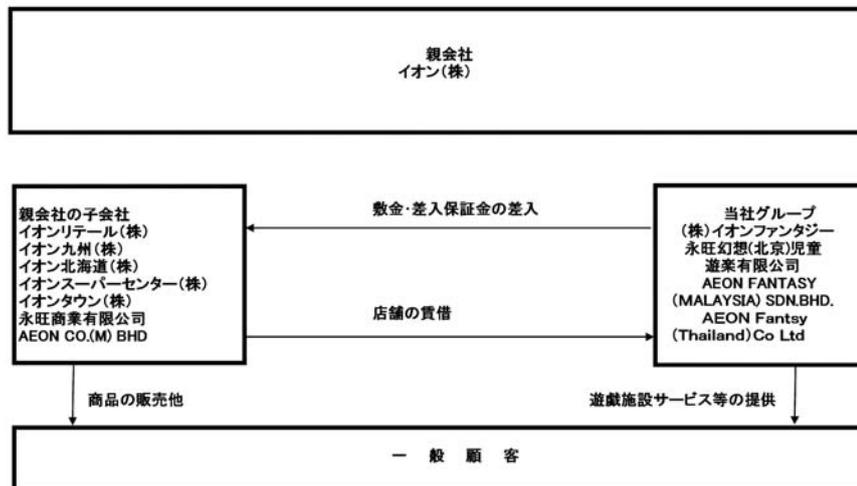
なお、次期の配当金につきましては、これまで期末配当の年1回を基本的な方針としておりましたが、2013年度より株主の皆さまの利益還元の機会を充実させる目的で、剰余金の配当を年2回実施することとし、1株につき年間30円を予定しております。

2. 企業集団の状況

当社の親会社は純粋持株会社イオン株式会社であります。同社を中心とした12事業とこれらを支える機能会社によりグループの競争力を高め、企業価値の向上を図っております。

この様なイオングループの事業の中で、当社はサービス事業に区分され、主としてショッピングセンター内の遊戯施設の運営を行っております。

以上述べました事項を事業系統図に示すと次のとおりであります。



なお、当社の営んでいる主な事業の内容を示すと以下のとおりとなります。

(1) ショッピングセンター内エンターテインメントアミューズメント施設の設置運営

イオングループ及びその他のディベロッパーが運営するショッピングセンター内で室内ゆうえんち等のエンターテインメントアミューズメント施設の設置運営を行っております。

(2) その他

① 室内ゆうえんちのフランチャイズ事業

フランチャイズ契約に基づき、室内ゆうえんちに関する経営情報、管理技術ノウハウ等の提供を行うことにより、ロイヤリティを収受しております。

② オリジナル遊戯機械及び景品等の販売

当社がメーカーと共同で企画・開発したオリジナル遊戯機械や景品等を、フランチャイジー等に販売しております。

3. 経営方針

2010年2月期決算短信(2010年4月6日開示)により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略しております。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.fantasy.co.jp/>

(東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ))

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

4. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

		当連結会計年度 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		5,250,053
売上預け金		150,090
商品		526,077
貯蔵品		345,136
関係会社寄託金		6,000,000
繰延税金資産		631,415
その他		497,156
流動資産合計		13,399,930
固定資産		
有形固定資産		
建物		5,317,700
減価償却累計額		△4,061,906
建物(純額)		1,255,794
遊戯機械		34,592,149
減価償却累計額		△27,530,643
遊戯機械(純額)		7,061,505
工具、器具及び備品		3,200,993
減価償却累計額		△2,203,393
工具、器具及び備品(純額)		997,599
その他		11,193
減価償却累計額		△3,230
その他(純額)		7,962
有形固定資産合計		9,322,862
無形固定資産		
のれん		1,087,499
その他		144,130
無形固定資産合計		1,231,629
投資その他の資産		
投資有価証券		92,510
敷金及び差入保証金		2,030,212
繰延税金資産		561,940
その他		45,351
投資その他の資産合計		2,730,015
固定資産合計		13,284,507
資産合計		26,684,437

(単位：千円)

当連結会計年度
(平成25年2月28日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	1,295,706
未払金	728,217
未払費用	787,845
未払法人税等	1,404,100
賞与引当金	203,764
役員業績報酬引当金	50,996
閉店損失引当金	1,025
設備関係支払手形	1,559,468
その他	402,064
流動負債合計	6,433,190
固定負債	
退職給付引当金	19,598
資産除去債務	195,219
その他	48,291
固定負債合計	263,109
負債合計	6,696,300
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,747,139
資本剰余金	1,714,979
利益剰余金	16,057,172
自己株式	△66,815
株主資本合計	19,452,476
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	9,491
為替換算調整勘定	212,418
その他の包括利益累計額合計	221,909
新株予約権	43,343
少数株主持分	270,407
純資産合計	19,988,137
負債純資産合計	26,684,437

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 平成24年2月21日 至 平成25年2月28日)
売上高	44,868,284
売上原価	38,603,502
売上総利益	6,264,782
販売費及び一般管理費	2,862,301
営業利益	3,402,480
営業外収益	
受取利息	21,358
為替差益	29,793
機械仕入割戻	13,639
固定資産売却益	16,184
その他	34,853
営業外収益合計	115,829
営業外費用	
固定資産売却損	20,003
その他	7,436
営業外費用合計	27,439
経常利益	3,490,870
特別損失	
閉店損失引当金繰入額	934
店舗閉鎖損失	15,313
減損損失	28,175
特別損失合計	44,423
税金等調整前当期純利益	3,446,447
法人税、住民税及び事業税	2,154,945
法人税等調整額	△248,718
法人税等合計	1,906,226
少数株主損益調整前当期純利益	1,540,220
少数株主利益	4,311
当期純利益	1,535,908

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 平成24年2月21日 至 平成25年2月28日)
少数株主損益調整前当期純利益	1,540,220
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	9,491
為替換算調整勘定	302,111
その他の包括利益合計	311,602
包括利益	1,851,823
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	1,815,118
少数株主に係る包括利益	36,704

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 平成24年2月21日 至 平成25年2月28日)
株主資本	
資本金	
当期首残高	1,747,139
当期変動額	
当期変動額合計	—
当期末残高	1,747,139
資本剰余金	
当期首残高	1,717,378
当期変動額	
自己株式の処分	△2,398
当期変動額合計	△2,398
当期末残高	1,714,979
利益剰余金	
当期首残高	15,344,622
当期変動額	
剰余金の配当	△580,143
当期純利益	1,535,908
連結範囲の変動	△243,214
当期変動額合計	712,550
当期末残高	16,057,172
自己株式	
当期首残高	△73,963
当期変動額	
自己株式の取得	△212
自己株式の処分	7,361
当期変動額合計	7,148
当期末残高	△66,815
株主資本合計	
当期首残高	18,735,176
当期変動額	
剰余金の配当	△580,143
当期純利益	1,535,908
連結範囲の変動	△243,214
自己株式の取得	△212
自己株式の処分	4,962
当期変動額合計	717,300
当期末残高	19,452,476

(単位：千円)

当連結会計年度
(自 平成24年2月21日
至 平成25年2月28日)

その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	
当期首残高	—
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	9,491
当期変動額合計	9,491
当期末残高	9,491
為替換算調整勘定	
当期首残高	△57,300
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	269,718
当期変動額合計	269,718
当期末残高	212,418
その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△57,300
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	279,210
当期変動額合計	279,210
当期末残高	221,909
新株予約権	
当期首残高	32,894
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	10,448
当期変動額合計	10,448
当期末残高	43,343
少数株主持分	
当期首残高	233,702
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	36,704
当期変動額合計	36,704
当期末残高	270,407

(単位：千円)

		当連結会計年度 (自 平成24年2月21日 至 平成25年2月28日)
純資産合計		
当期首残高		18,944,473
当期変動額		
剰余金の配当		△580,143
当期純利益		1,535,908
連結範囲の変動		△243,214
自己株式の取得		△212
自己株式の処分		4,962
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		326,363
当期変動額合計		1,043,663
当期末残高		19,988,137

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当連結会計年度 (自 平成24年2月21日 至 平成25年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	3,446,447
減価償却費	4,083,273
固定資産除売却損益(△は益)	132,848
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,005
役員業績報酬引当金の増減額(△は減少)	△13,988
受取利息	△21,358
減損損失	28,175
売上債権の増減額(△は増加)	402
売上預け金の減少額(△は増加)	61,171
たな卸資産の増減額(△は増加)	△71,803
仕入債務の増減額(△は減少)	416,201
その他	△143,172
小計	7,934,203
利息及び配当金の受取額	21,512
法人税等の支払額	△1,803,597
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,152,118
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△5,499,487
有形固定資産の売却による収入	89,167
無形固定資産の取得による支出	△126,300
投資有価証券の取得による支出	△77,840
長期前払費用の増加による支出	△11,181
敷金及び保証金の差入による支出	△113,714
敷金及び保証金の回収による収入	95,604
その他	△29,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,672,874
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△212
配当金の支払額	△580,025
その他	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△580,233
現金及び現金同等物に係る換算差額	100,135
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△853
現金及び現金同等物の期首残高	4,326,947
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	923,959
現金及び現金同等物の期末残高	5,250,053

継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

1. 連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結の対象としており、その内容は次のとおりであります。

連結子会社の数 4社

連結子会社の名称 永旺幻想(北京)児童遊楽有限公司 AEON FANTASY (MALAYSIA) SDN. BHD.
AEON Fantasy (Thailand) Co.,Ltd. AEON Fantasy Holdings (Thailand) Co.,Ltd.

当連結会計年度より、イオンファンタジー北京(永旺幻想(北京)児童遊楽有限公司)及びイオンファンタジーマレーシア(AEON FANTASY (MALAYSIA) SDN. BHD.)については、今後重要性が増すと考えられるため、連結の範囲に含めております。また、当連結会計年度において新たに設立したイオンファンタジータイランド(AEON Fantasy (Thailand) Co.,Ltd.)及びイオンファンタジーホールディングスタイランド(AEON Fantasy Holdings (Thailand) Co.,Ltd.)を連結の範囲に含めております。

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結決算日の変更に関する事項

当社は、連結決算日を毎年2月20日としておりましたが、主要な取引先の決算日と一致させ、より効率的な業務執行を行うため、2012年5月15日開催の定時株主総会の決議に基づき、連結決算日を2月末日に変更しております。

当該変更に伴い、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度の期間は、2012年2月21日から2013年2月28日までの12ヶ月と8日間となっております。

4. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち永旺幻想(北京)児童遊楽有限公司の決算日は、12月31日であります。

連結財務諸表の作成に当たっては、同決算日現在の財務諸表を使用しております。ただし、1月1日から連結決算日2月28日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

5. 会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法

① その他有価証券

時価のないもの 移動平均法による原価法

② たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品 「企業会計原則と関係諸法令との調整に関する連続意見書」第四に定める売価還元平均原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

貯蔵品 最終仕入原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く) 経済的耐用年数に基づく定額法

各資産別の耐用年数として下記の年数を採用しております。

建物(建物附属設備) 3～10年

遊戯機械 2～6年

器具備品 2～10年

② 無形固定資産(リース資産を除く)

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 賞与引当金

社員及びフレックス社員(パートタイマー)に支給する賞与に備え、支給見込額のうち当連結会計年度に負担する金額を計上しております。

②役員業績報酬引当金

役員に対する業績報酬の支給に備えるため、支給見込額のうち、当連結会計年度に負担する金額を計上しております。

③退職給付引当金

従業員の退職給付に備え、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき当連結会計年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、過去勤務債務は発生年度において一括処理し、数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により翌事業年度から費用処理することとしております。

④閉店損失引当金

店舗の閉店に伴い発生する損失に備え、店舗閉店により合理的に見込まれる中途解約違約金等の閉店関連損失見込額を計上しております。

(4) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社の資産及び負債は、在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定及び少数株主持分に含めて計上しております。

(5) のれんの償却方法及び償却期間

効果の発現する期間等(10年間)の定額法により償却を行っております。

(6) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引出可能な預金からなっております。

(7) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理 税抜方式によっております。

追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

注記事項

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ショッピングセンター内エンターテインメントアミューズメント施設の設置運営を主な事業としており、国内における「国内事業」、海外における「海外事業」の2つを報告セグメントとしております。

「国内事業」は当社が事業を営んでおり、「海外事業」は、イオンファンタジー北京(永旺幻想(北京)児童遊楽有限公司)が中国において、イオンファンタジーマレーシア(AEON FANTASY (MALAYSIA) SDN. BHD.)がマレーシアにおいて、イオンファンタジータイランド(AEON Fantasy (Thailand) Co., Ltd.)がタイにおいて、ショッピングセンター内エンターテインメントアミューズメント施設の設置運営事業をそれぞれ営んでおります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
当連結会計年度(自 平成24年2月21日 至 平成25年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	43,703,195	1,165,089	44,868,284	—	44,868,284
セグメント間の内部売上高	26,102	—	26,102	△26,102	—
計	43,729,298	1,165,089	44,894,387	△26,102	44,868,284
セグメント利益又は損失(△)	3,703,947	△301,466	3,402,480	—	3,402,480
セグメント資産	23,144,436	3,588,322	26,732,758	△48,321	26,684,437
その他の項目					
減価償却費	3,538,742	267,592	3,806,335	—	3,806,335
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	4,661,213	1,431,485	6,092,698	—	6,092,698

(注)1. セグメント利益又は損失(△)は、セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去によるものではありません。

2. セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 平成24年2月21日 至 平成25年2月28日)
1株当たり純資産額	1,084.95円
1株当たり当期純利益金額	84.71円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	84.46円

(注)1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 平成24年2月21日 至 平成25年2月28日)
1株当たり当期純利益金額	
当期純利益金額(千円)	1,535,908
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	1,535,908
期中平均株式数(株)	18,131,101
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	
当期純利益調整額(千円)	—
普通株式増加数(株)	53,229
(うち新株予約権(株))	(53,229)

(重要な後発事象)

該当はありません。

5. 個別財務諸表
(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月20日)	当事業年度 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,326,947	4,438,973
売掛金	2,557	2,155
売上預け金	193,581	123,013
商品	429,988	513,311
貯蔵品	355,267	341,371
関係会社寄託金	6,000,000	6,000,000
前払費用	44,205	—
繰延税金資産	318,826	631,415
未収入金	109,613	257,015
その他	79,523	157,014
流動資産合計	11,860,512	12,464,270
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,706,324	4,679,354
減価償却累計額	△3,866,157	△3,972,181
建物(純額)	840,166	707,172
遊戯機械	32,112,408	32,939,138
減価償却累計額	△27,007,416	△27,166,467
遊戯機械(純額)	5,104,991	5,772,670
工具、器具及び備品	2,775,828	3,003,855
減価償却累計額	△2,276,955	△2,172,012
工具、器具及び備品(純額)	498,873	831,842
有形固定資産合計	6,444,031	7,311,685
無形固定資産		
のれん	915,482	681,162
ソフトウェア	17,925	70,694
電話加入権	302	302
無形固定資産合計	933,710	752,159
投資その他の資産		
投資有価証券	—	92,510
関係会社株式	926,862	1,266,145
関係会社出資金	930,000	1,064,000
関係会社長期貸付金	200,000	897,900
長期前払費用	74,321	45,301
繰延税金資産	597,705	561,940
敷金及び差入保証金	2,025,343	1,916,519
前払年金費用	3,047	—
その他	50	50
投資等損失引当金	—	△550,323
投資その他の資産合計	4,757,329	5,294,043
固定資産合計	12,135,071	13,357,888
資産合計	23,995,584	25,822,158

㈱イオンファンタジー(4343)2013年2月期決算短信(連結)

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月20日)	当事業年度 (平成25年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	837,023	1,246,385
未払金	712,430	601,565
未払費用	852,718	755,611
未払法人税等	1,042,920	1,370,731
未払消費税等	42,293	77,172
預り金	648	10,213
賞与引当金	175,371	182,938
役員業績報酬引当金	64,985	50,996
設備関係支払手形	1,266,499	1,559,468
設備関係未払金	23,059	187,146
閉店損失引当金	7,169	—
資産除去債務	3,335	—
流動負債合計	5,028,456	6,042,229
固定負債		
退職給付引当金	—	19,598
資産除去債務	185,376	180,441
その他	13,680	9,900
固定負債合計	199,056	209,939
負債合計	5,227,512	6,252,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,747,139	1,747,139
資本剰余金		
資本準備金	1,650,139	1,650,139
その他資本剰余金	67,239	64,840
資本剰余金合計	1,717,378	1,714,979
利益剰余金		
利益準備金	212,500	212,500
その他利益剰余金		
別途積立金	13,000,000	13,000,000
繰越利益剰余金	2,132,122	2,909,349
利益剰余金合計	15,344,622	16,121,849
自己株式	△73,963	△66,815
株主資本合計	18,735,176	19,517,153
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	9,491
評価・換算差額等合計	—	9,491
新株予約権	32,894	43,343
純資産合計	18,768,071	19,569,988
負債純資産合計	23,995,584	25,822,158

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成23年2月21日 至 平成24年2月20日)	当事業年度 (自 平成24年2月21日 至 平成25年2月28日)
売上高		
遊戯施設売上高	42,420,900	43,694,718
その他の売上高	26,716	34,580
売上高合計	42,447,616	43,729,298
売上原価		
遊戯施設売上原価	36,424,378	37,629,125
その他売上原価	283	497
売上原価合計	36,424,662	37,629,622
売上総利益	6,022,954	6,099,675
販売費及び一般管理費		
役員報酬	118,899	116,467
従業員給与及び賞与	831,832	818,216
賞与引当金繰入額	50,932	50,494
役員業績報酬引当金繰入額	64,985	50,996
退職給付費用	56,437	58,459
法定福利厚生費	212,911	213,585
教育研修費	31,453	20,630
家賃及び共益費	72,966	72,272
減価償却費	253,246	255,581
旅費交通費	202,276	178,667
通信費	69,024	71,279
調査研究費	16,918	28,763
その他	424,461	460,311
販売費及び一般管理費合計	2,406,347	2,395,728
営業利益	3,616,606	3,703,947
営業外収益		
受取利息	14,010	22,057
受取保険金	13,431	9,152
機械仕入割戻	10,801	13,639
固定資産売却益	9,025	16,184
受取補償金	—	11,325
その他	5,974	20,442
営業外収益合計	53,243	92,801
営業外費用		
リース解約損	6,180	—
固定資産売却損	29,285	20,003
その他	3,150	4,377
営業外費用合計	38,615	24,380
経常利益	3,631,234	3,772,368

㈱イオンファンタジー(4343)2013年2月期決算短信(連結)

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成23年 2月21日 至 平成24年 2月20日)	当事業年度 (自 平成24年 2月21日 至 平成25年 2月28日)
特別利益		
役員業績報酬引当金戻入額	13,658	—
受取保険金	100,000	—
特別利益合計	113,658	—
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	7,169	—
店舗閉鎖損失	18,623	11,161
減損損失	46,758	9,631
災害による損失	98,838	—
投資等損失引当金繰入額	—	550,323
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	185,639	—
特別損失合計	357,029	571,117
税引前当期純利益	3,387,863	3,201,251
法人税、住民税及び事業税	1,617,674	2,125,883
法人税等調整額	85,589	△282,002
法人税等合計	1,703,263	1,843,880
当期純利益	1,684,599	1,357,370

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成23年2月21日 至 平成24年2月20日)	当事業年度 (自 平成24年2月21日 至 平成25年2月28日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	1,747,139	1,747,139
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	1,747,139	1,747,139
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	1,650,139	1,650,139
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	1,650,139	1,650,139
その他資本剰余金		
当期首残高	68,172	67,239
当期変動額		
自己株式の処分	△933	△2,398
当期変動額合計	△933	△2,398
当期末残高	67,239	64,840
資本剰余金合計		
当期首残高	1,718,312	1,717,378
当期変動額		
自己株式の処分	△933	△2,398
当期変動額合計	△933	△2,398
当期末残高	1,717,378	1,714,979
利益剰余金		
利益準備金		
当期首残高	212,500	212,500
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	212,500	212,500
その他利益剰余金		
別途積立金		
当期首残高	12,300,000	13,000,000
当期変動額		
別途積立金の積立	700,000	—
当期変動額合計	700,000	—
当期末残高	13,000,000	13,000,000
繰越利益剰余金		
当期首残高	1,691,382	2,132,122
当期変動額		
別途積立金の積立	△700,000	—
剰余金の配当	△543,859	△580,143
当期純利益	1,684,599	1,357,370
当期変動額合計	440,740	777,226
当期末残高	2,132,122	2,909,349

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成23年2月21日 至 平成24年2月20日)	当事業年度 (自 平成24年2月21日 至 平成25年2月28日)
その他利益剰余金合計		
当期首残高	13,991,382	15,132,122
当期変動額		
別途積立金の積立	—	—
剰余金の配当	△543,859	△580,143
当期純利益	1,684,599	1,357,370
当期変動額合計	1,140,740	777,226
当期末残高	15,132,122	15,909,349
利益剰余金合計		
当期首残高	14,203,882	15,344,622
当期変動額		
別途積立金の積立	—	—
剰余金の配当	△543,859	△580,143
当期純利益	1,684,599	1,357,370
当期変動額合計	1,140,740	777,226
当期末残高	15,344,622	16,121,849
自己株式		
当期首残高	△75,439	△73,963
当期変動額		
自己株式の取得	△287	△212
自己株式の処分	1,762	7,361
当期変動額合計	1,475	7,148
当期末残高	△73,963	△66,815
株主資本合計		
当期首残高	17,593,894	18,735,176
当期変動額		
剰余金の配当	△543,859	△580,143
当期純利益	1,684,599	1,357,370
自己株式の取得	△287	△212
自己株式の処分	829	4,962
当期変動額合計	1,141,282	781,977
当期末残高	18,735,176	19,517,153
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	—	—
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	9,491
当期変動額合計	—	9,491
当期末残高	—	9,491
評価・換算差額等合計		
当期首残高	—	—
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	9,491
当期変動額合計	—	9,491
当期末残高	—	9,491

㈱イオンファンタジー(4343)2013年2月期決算短信(連結)

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成23年 2月21日 至 平成24年 2月20日)	当事業年度 (自 平成24年 2月21日 至 平成25年 2月28日)
新株予約権		
当期首残高	19,275	32,894
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	13,619	10,448
当期変動額合計	13,619	10,448
当期末残高	32,894	43,343
純資産合計		
当期首残高	17,613,169	18,768,071
当期変動額		
剰余金の配当	△543,859	△580,143
当期純利益	1,684,599	1,357,370
自己株式の取得	△287	△212
自己株式の処分	829	4,962
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	13,619	19,940
当期変動額合計	1,154,901	801,917
当期末残高	18,768,071	19,569,988